

# 社協の相談窓口



## ● 居宅介護支援事業所

ケアマネジャーによるケアプランの作成、介護保険認定の申請代行からサービスの利用まで、安心してご利用いただけるよう皆さまの生活をサポートしてまいります。  
介護でお悩みのこと、お困りのことなど……お気軽にご相談ください。ご相談は無料です。

事業所名	所在地	TEL	営業日時等
古川中央居宅介護支援事業所	大崎市古川十日町4番21号	91-8181	月～金 8:30～17:15
古川西部居宅介護支援事業所	大崎市古川保柳字中江1番8号	26-4401	
古川南居宅介護支援事業所	大崎市古川小稲葉町8番20号	21-1225	
古川大宮居宅介護支援事業所	大崎市古川大宮七丁目2番3号	21-3107	
松山居宅介護支援事業所	大崎市松山千石字広田11番地	55-4546	
鹿島台居宅介護支援事業所	大崎市鹿島台平渡字上敷19番7号	56-9444	
岩出山あつたか村居宅介護支援事業所	大崎市岩出山字下川原町100番8号	72-4865	
鳴子居宅介護支援事業所	大崎市鳴子温泉字末沢1番地	82-3578	
田尻居宅介護支援事業所	大崎市田尻沼部字富岡166番地	38-1216	

## ● 指定特定相談支援事業所【平成24年4月開設】

相談支援専門員が障害のある方、その家族、介護者等からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成、支援、情報提供や権利擁護のために必要なサポートをしてまいります。  
お気軽にご相談ください。ご相談は無料です。

事業所名	所在地	TEL	営業日時等
大崎東部相談支援事業所	大崎市鹿島台平渡字上敷19番7号	56-9418	月～金 9:00～16:30

## 【大崎市地域包括支援センター】

当社会福祉協議会では、市内3ヶ所（下記）の地域包括支援センター運営事業を大崎市より業務受託しております。  
相談は無料です。お気軽にご相談下さい。

### ■ 古川地域包括支援センター（当社協 受託）

所在地：大崎市古川大宮七丁目2番3号 福祉センターおおみや内  
TEL：0229-87-3113  
相談受付：月～金曜日／8:30～17:15

### ■ 田尻地域包括支援センター（当社協 受託）

所在地：大崎市田尻沼部字富岡166番地 田尻老人福祉センター内  
TEL：0229-39-3601  
相談受付：月～金曜日／8:30～17:15

### ■ 玉造地域包括支援センター（当社協 受託）

所在地：大崎市岩出山字下川原町100番8号 岩出山地域福祉センター内  
TEL：0229-72-4888  
相談受付：月～金曜日／8:30～17:15



## 地域包括支援センターとは…

高齢者の方が住み慣れた地域で、生き生きとした生活が持続できるよう、高齢者の方の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点となる機関です。  
主任ケアマネジャーや社会福祉士、保健師などの専門職が配置され、その専門知識や技能を互いに活かしながら高齢者の方への総合的な支援を行います。

# 東日本大震災を忘れない 私たちからの「備え」と「次世代へ」伝えたいこと おおさきからのメッセージ



## 東日本大震災から学んだこと「備え」 ～ 地域の備え・家庭での備え・心の備え ～

- ◇ 結いの心（日頃から心掛け、まず自分の生命を守り、そして家族、ご近所に）
- ◇ 共存（聞いてあげる耳をもって）
- ◇ 常日ごろからの「お隣さん」お向えさんとの「つながり」こそが、いざという時の一番の「備え」。
- ◇ 日頃から近所付き合い・声がけを大切にしよう。
- ◇ 命を大切にしよう。
- ◇ 自分を 家族を 地域を 大切にしたい。
- ◇ 日頃の近所間の声がけ。
- ◇ 支え合う心を強めよう“共助の精神”
- ◇ 電気、ガスが止まったため、練炭墨が役にたった。
- ◇ 水・簡易トイレ。
- ◇ 公的支援がくる間の2・3日分ぐらいの食料、水の備蓄が必要。
- ◇ 隣人・友人、みんなで助け合うことが大切、思いやりが大切。
- ◇ 3・11から1年を迎えて、再度の支援の届け、募金運動をしたい。善意のタイガーマスク運動！
- ◇ 防災用ラジオ
- ◇ 隣近所の人々とのコミュニケーションを大切にしよう。
- ◇ 学校と地域と一緒に避難訓練をしましょう（地域の顔が見える避難訓練を…）
- ◇ 常日頃、隣近所や地域の人達とコミュニケーションをとっておく事「遠くの親戚より近くの他人」
- ◇ 家族の役割の確認
- ◇ 常に家族で災害について話し合うことが大切。
- ◇ 災害があったからではなく、いつでも「水」は大事にしましょう！
- ◇ 災害があった時、家族が集まる場所を決めておく。
- ◇ 家族の安全を確かめたら、地域の防災組織に協力する。
- ◇ 食材の意識（日保ちするもの、長期保存法、調理具）
- ◇ 近くに遠くに、心配してくれる人がいる。連絡手段を日頃から考えておかないと…
- ◇ 強い体（健康）と広い心、やさしさを持つ。
- ◇ 「いざ」という時に、有効に動けるように日常の意識を絶やさないう！
- ◇ 何でもすぐ手に入ることでいい今日ですが、物のありがたみ、物を大切にすることをもう一度考えましょう。
- ◇ パン1個、納豆1個でも分けてもらえる近所の人々の親切さが身にしみて、ありがたく思う。
- ◇ DNAになるまで、語り継ぐ。
- ◇ 家族で語らう時間
- ◇ 災害は忘れた頃にやってくる…と言うが、忘れなくてもやってくる。常に備える心を持って生活する。
- ◇ プライバシー侵害を考慮に入れながら、近所の家族構成など知っておくことも大切
- ◇ 心の備えが第一。水と食物の備えが第二。ローソクが第三。「若者と共に」をモットーに！
- ◇ 記憶にならなってしまうように、常に語り合っていく。
- ◇ 高齢者の支援と共に、赤ちゃんの見守り行動も加えましょう！
- ◇ まず集まれ（避難）。そこから何でも生まれてくる。

- ◇ 寄り添うやさしさ忘れない。
- ◇ お風呂の水は、入れ替えまで捨てない事。
- ◇ 寝室に長靴と帽子を備える（防災ずきんの作成）。
- ◇ 地域交流の大切さ。3・11を宮城県としてどんな日にしていくか考えたい。
- ◇ 家族だけでなく、教育機関と連携の中で育んでいく。
- ◇ 自分の地域での役割・立場は何かを考える機会を設ける。
- ◇ あの震災を忘れないように、家族・地域等で年間計画に入れて話し合いや防災訓練をすることが大事。
- ◇ 中学生の活躍の場を地域に作りましょう！
- ◇ 地域運営される公民館が、地域の一人ひとりを守る地域活動に積極的にかかわる必要がある。決して役所の延長的役割を果たすのではなく、いわゆる「民」となるのです。

## 東日本大震災から学んだこと「次世代へ」 ～ 伝えなければいけないこと ～

- ◇ 資源の大切さ・助け合い・支え合いの大切さ・家族・命の大切さ。
- ◇ 地域での力を合わせ、お互い支援活動をする。必ず自分を大切に、生き残ること。
- ◇ 希望のない人には、明日がない。話し合おう「明日のために」。
- ◇ 一人じゃない。いつでもみんなと仲良くしましょう。
- ◇ 命大切に。
- ◇ 現実の問題はいろいろあると思いますが、自分として目標は絶対に失わない事“念ずれば花開く”
- ◇ 春は必ずきます。とけない雪は絶対ありません。未来に希望をもとう！
- ◇ 手を握り、空を見上げていきたい。
- ◇ みんなでやさしい心を忘れずに、支え合おう。
- ◇ 忘れないよう 語りつないでいこう！
- ◇ 若い人達との常日頃の密接な関わりや地域には乏しいので、積極的に参加できる環境をつくる。
- ◇ 近所付き合いが大切。人手の少ない家族。ひとり暮らしの高齢者、病弱な方たちは、近所に必ずいます。
- ◇ 隣近所の“きずな”が大切。隣近所の人達の笑顔を見ると自然と元気がわいてきます。
- ◇ 互いを思う気持ちを大切に。
- ◇ どんなことがあっても、夢をもって生きて！やさしい思いやりと助け合いの気持ちをもって！
- ◇ 日ごろからの地域の連携は、災害時は敏速に対応できると思うので、常に隣近所、子供達と顔見知りになることを心がけて。
- ◇ どんなに小さな手助けでも、それは立派なボランティアです。
- ◇ 足元にある小さなものでも、自分にできる事から行動に起こして！
- ◇ 人に会ったら元気に挨拶をしよう。小さな親切、大きな幸せ。
- ◇ 自分で判断できる力を身につけよう。
- ◇ 絶対に「無」いことはひとつもない。
- ◇ 一生懸命生きる！

～「おおさき災害フォーラム」来場者より、沢山のご意見をいただきました。～